

御屏風二帖南方開戸其内敷細貫筵二枚

〔倭訓栞中編八〕こまちむしろ。延喜式に小町席と見ゆ、小區席なるべし、

〔延喜式内藏十五〕諸國年料供進

小町席三百枚略○中 右上野國交易所進

〔延喜式主計二十四〕上野國略○中 中男作物略○中 細町席略○下

〔延喜式考異主計二十四〕席同諸本作細町席、案内藏式、上野國交易所進、有細貫筵、小町席、民部式、上野

國交易雜物中有席及細貫席、政事要略載延曆十八年十月二十一日符、上野例進地子雜物、有細貫筵、小町筵、而細町席無所見、是後人旁注各一字、而誤入本文、或脫貫席小三字乎、姑以為旁注混

入、而削去細町二字、

〔延喜式主計二十四〕豊後國略○註 調略○中 小町席廿張略○下

〔延喜式左右京十二〕戶籍帙料、小町席、黃帛、黃絲略○下

〔萬葉集十一〕獨寢等、菱朽目入方、綾席、緒爾成及君乎之將待、

〔萬葉集略解十一〕獨ぬるとての意也、菱は蔣にて中重也、席は筵にて上重也略○中 綾むしろは綾

檜笠、綾檜垣などの綾の言の如くて、蔭を綾に織たるなるべし、

〔夫木和歌抄三十二〕戀御歌中あや筵

あやむしろをになるまでに戀わびぬしたくちぬらしとふのよるこも

〔新千載和歌集十二〕元亨元年九月盡日、人々三首の歌つかうまつりける時、契經年戀と云ふ事を

よませ給ひける、

後醍醐院御製

あやむしろをに成までの年月もくちぬは人の契なりけり

〔類聚名物考調度四〕うはむしろ。上筵 しのねの事なり